



珍鳥「ワキアカツグミ」が飛来

■花渡川河口近くの空き地で元旦の朝に近くの住民により確認されたワキアカツグミ。九州では初の観測となる珍鳥を写真に収めようと、県外からも多くの野鳥ファンが訪れました。



園児がボンカン狩り楽しむ

■12月22日、妙見保育園の園児が耕作放棄地の再生を目指す市民グループ「アシスト」が管理する東鹿籠の果樹園でボンカン狩りを楽しみました。



「薩摩青雲丸」ハワイ沖へ向け出港

■1月10日、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」がハワイ沖へ向け出港しました。海洋科2年生と専攻科1・2年生の計17人が乗船。71日間の航海で漁業実習などをします。



「みしのたくかにと」本の楽しさ伝える

■1月24日、健康センターで行われた「子育てサロン」で昨年9月に発足した「NPO法人読書推進団体枕崎みしのたくかにと」による絵本の読み聞かせ会がありました。



ご当地カルタで金山の歴史や文化つなぐ ～「金山いろはカルタ」が完成

金山地区に伝わる歴史や文化などをカルタにした「金山いろはカルタ」が完成しました。このカルタを手掛けたのは金山地区公民館館長の関利治さん。金山地区に伝わる歴史や文化を知る人も少なくなり、後世に形として伝承したいという思いで制作を決めました。金山の歴史や文化はもちろん、自然の豊かさや人情の厚さなどを詠んだ48句は地域住民からも募りました。

12月22日、金山小学校で行われたお披露目会には金山小学校の児童や地元住民などが参加。関さんが読み札を読むと、子どもたちは体育館いっばいに敷き詰められたA3サイズの特大カルタをわれ先にと取り合っていました。下迫渉生くん(金山小5年)は「知らなかったこといっぱいあった。楽しみながら学ぶことができました」と話してくれました。



木村庄之助さんに勇気もらう ～枕崎中生徒に木村庄之助さんから年賀状

枕崎中学校2年生90人が昨年末、大相撲立行司36代木村庄之助さん(本名：山崎敏廣さん)に年賀状を送ったところ、その返信が全員に直筆で届きました。同校では枕崎後援会や郵便局からの提案もあり、同校OBである木村さんに年賀状を出すことに。年賀状にはそれぞれ夢や希望を書きました。



木村庄之助さん

神園渉太くん(2年)は「テニスを生かした職に就き、いろんな人にスポーツの楽しさを伝えたいと書いて出しました。激励の言葉を直筆でいただき感謝です。目標に向けて頑張ります」と話してくれました。



①「枕崎経節大使」のタスキをかけて子どもたちと走る猫ひろしさん ②親子での参加も多く見られました ③トークショーをする猫ひろしさん

「枕崎経節大使」猫ひろしさん走る ～第36回枕崎新春かつおジョギング大会

第36回枕崎新春かつおジョギング大会が1月20日、市営野球場周辺や火之神、内鍋折り返しの1、2、4、10*の4コースで行われました。速くは熊本県など、県内外から過去最多の700人が参加し、新春の枕崎路を駆け抜けました。

今回、「ふしの日」制定を記念して、枕崎水産加工業協同組合が認定する「枕崎経節大使」でお笑いタレントでマラソン選手の猫ひろしさんが招待選手として参加。2*と10*の部に出場したほか、子どもたちと一緒に走ったり、トークショーや撮影会をしたりと、大会を盛り上げていました。

大会結果は市ホームページに掲載しています。

鬼火たきに願い込める ～田布川集落で初めての鬼火たき

田布川集落の鬼火たきが1月13日、田の神様近くの田んぼで行われました。同集落では「地域の活性化につなげよう」と今回初めて鬼火たきを実施しました。高々と燃え上がる炎を前に、小学生から高校生までの約20人が「家の手伝いを頑張りたい」、「水泳で九州大会に出たい」などの抱負を宣言した後、手製の弓矢でミカンを的にした願掛けを行いました。

近くではぜんざいなどの振る舞いもあり、集落民総出のにぎやかな催しとなりました。



昔の遊びで市内学童が交流深める ～学童交流会

学童どうしの交流を深めることを目的とした学童交流会が1月5日、妙見センターであり、市内全保育園から約100人が参加しました。今回で2回目の開催になります。参加者はけん玉やお手玉、こままわしなど昔の遊びを楽しみました。

参加した豊留快くん(妙見保育園学童)は「いろんな人たちと昔遊びの対戦をとおして友達になれました。いい経験ができました」と話してくれました。